



NARA NEWS PAPER

〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4 電話(0742)32-1000(代)

発行所 奈良新聞社 ©奈良新聞社 2022

本社(ダイヤルイン)0742-

総務課	・	経理課	32-2111	中南和支社
営業課			32-2112	0744-34-1221(代)
編集部	各	課	32-2113	大阪支社
販売課	・	シニア事務局	32-2114	06-6777-1531(代)
出版課			32-2117	東京支社
ならりビング課			32-2118	03-6811-2860(代)

www.nara-np.co.jp

信貴の湯 天然温泉

信貴山のどか村内

毎月26日は「風呂の日」
入浴料大人500円

信貴の湯専用 入口・駐車場有

株式会社 北浦商会

◆外構 ◆エクステリア
◆造園 ◆造成

奈良県知事許可(般-30)第16395号

県域水道一体化

葛城市が不参加

「自己水源を残す」

葛城市の阿古和彦市長は16日、市議会12月定例会の特別委員会で、県域水道一体化事業には参加せず、市単独経営で水道事業を継続していくことを表明した。当初、県と県内27市町村で始まった同事業協議からの離脱表明は、10月の奈良市に次いで2例目。

【3面に関連記事】

阿古市長は判断に至った理由について「市の文化ともいえる自己水源を残し、きめ細やかな住民サービスを今後も続けたい。料金も含めた水道事業の決定権を残し、市独自のまちづくりに生かしていきたい。単独でも経営を続けられる可能性がある」と説明。

一方、管路や浄水場の更新など多額の投資に市独自で対応する必要性のほか、参加した場合と比べて必ず

しも安価な水道料金が続くわけではないとの認識も示し、「経営努力で参加するより低料金にできる可能性がある。単独経営を継続することにチャレンジしたい」と述べた。

この日の委員会では、委員から「思うように経営できなければ、子ども世代が負担することになる」などの意見も出たが、「課題を含めた今後の事業展開などを市民に報告すべき」とい

った要望とともに、おおむね賛同の意思が示された。

同市は、ため池など自己水源の割合が7、8割と県営水道よりも高く、県内で一番安い水道料金で給水している。一体化に参加する自治体の水道料金は統一を基本としているが、県と26市町村でつくる県広域水道企業団設立準備協議会(第5回、11月29日開催)で、値上がりとなる同市に対して高くなる期間は30年を上限に別料金を設定することが示されていた。

同市は今年13日、市民説明会で同協議会からの提示内容を報告。市民の意見を踏まえて不参加を決め、この日の委員会で説明

した。25日には市民説明会で報告され、同協議会へは

JAAF アワード 奈良マニ

「BEST THINK賞」を受賞した奈良マニラソン実行委員会の林事務局次長(左)と運営競技班の田淵寛人さん=15日、東京都



26日までに書面

新人3匹
出馬を志

来春の

若林かずみ氏

